資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
13220	一般資料	書籍	句集 荒鋤	大野林火 編集兼 発行者／村越化石 収載／関森勝夫 収載	濱代表作品選集・『濱』200号記念総合句集、151号以降の作品から同人30句、会員15句自選のものを大野林火再選・『海音』につづくもの・編集：大野林火・金子無患子・関森勝夫／序文－大野林火／作品：関森勝夫p109【螻蛄殺すしづかに長き試験季】【云はざりき赤とんぼ追ひ遅れしを】ほか全15句、村越化石p161【雀宿る椏を寒暮の蒼つつむ】【影凍る盲導鈴よ一音澄み】【菊焚けばまぼろしのふゆ癪眼ぞ】【いづちの野焼かる次ぎ次ぎ影鴉】ほか全30句／浜俳句抒情の展開－金子無患子：村越化石・第4回角川俳句賞受賞、関森勝夫・評論についての記述あり／収録作家一覧：関森勝夫p203、村越化石p205	濱発行所	1962/11/15			207
13236	一般資料	書籍	句集 一代畑	大野林火 編者／ 村越化石 収載	高原俳句会・第3句集／序－園長・阿部秀直、作品：村越化石p25【鳥けもの喜雨山中に出で逢へや】【白露やまみえし富士のおん姿】【母なき川曼珠沙華なと流れ来よ】【黒き炭割り幸せを願ふかな】ほか全79句、あとがき－大野林火、後記－村越化石	栗生楽泉園高 原俳句会	1976/05/20			168
18701	一般資料	書籍	句集 一代畑	大野林火 編者／ 村越化石 収載	高原俳句会・第3句集／序－園長・阿部秀直、作品：村越化石p25【鳥けもの喜雨山中に出で逢へや】【白露やまみえし富士のおん姿】【母なき川曼珠沙華なと流れ来よ】【黒き炭割り幸せを願ふかな】ほか全79句、あとがき－大野林火、後記－村越化石	栗生楽泉園高 原俳句会	1976/05/20			168
13222	一般資料	書籍	代表作選集 海音	大野林火 編集兼 村越化石 収載	代表作選集・「濱」150号記念句集：創刊以来の作品から濱賞受賞者30句、一般会員15句自選を大野林火再選／序文－大野林火／作品：村越化石p152【除夜の湯に肌触れあへり生くるべし】【病臭は口よりすむ夏無風】【暮色来て足もとの栗動きしか】【冬の山動くものなく徑通ず】ほか全29句／「濱」俳句150号の歩み－田中灯京：村越化石を中心とする草津楽泉園句集『火山翳』についての記述ありp187、収録作家一覧p8	近藤書店	1958/04/25			187

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
13228	一般資料	書籍	大野林火全集 第1巻・俳句1	大野林火 著／村越化石 関連／関森勝夫 収載	第1～7句集『海門』『冬青集』『早桃』『青水輪』『白幡南町』『雪華』、「濱」草創期の句集『冬雁』より収録／第5句集『青水輪』—草津栗生楽泉園を初めて訪れた折りの群作収録【この名に名乗るをさむく聞きみたり】【たんぽぽに癪者と影を同じうす】ほかp266 (p441～443に解説あり:村越化石についての記述あり)、第7句集『雪華』—解説:関森勝夫p445／解題・解説:松崎鉄之介、宮津昭彦、野沢節子、関森勝夫、荒井正隆／監修:井本農一、加藤楸邨、川島彷徨子、沢木欣一、能村登四郎、八木絵馬・編集委員:大串章、近藤一鴻、猿橋統流子、野沢節子、松崎鉄之介ほか／題字:荒井正隆	梅里書房	1993/05/10			446
13231	一般資料	書籍	大野林火全集 第4巻・鑑賞1	大野林火 著／村越化石 関連	『現代俳句読本』(『現代俳句読本』後半)『現代の秀句』『戦後秀句1』『春の俳句(『俳句歳時記』春の部)』、共著『俳句鑑賞三六五日』を収録／『春の俳句』—暮の春:村越化石【望郷台暮春の頭垂れ登る】(作句についての解説、句集『独眼』についての記述あり)p455／解題・解説:下田稔、中戸川朝人、きくちつねこ、八牧美喜子、松崎鉄之介、荒井正隆／監修:井本農一、加藤楸邨、川島彷徨子、沢木欣一、能村登四郎、八木絵馬・編集委員:大串章、近藤一鴻、猿橋統流子、野沢節子、松崎鉄之介ほか／題字:荒井正隆	梅里書房	1994/03/15			489
13233	一般資料	書籍	大野林火全集 第6巻・鑑賞3	大野林火 著／村越化石 関連	『濱俳句鑑賞』および同書に未収録であった『濱』掲載の「雑詠を見る」のうち、主なものを拾遺として収録／解題・解説:大串章、荒井正隆(村越化石の記述あり)p504／監修:井本農一、加藤楸邨、川島彷徨子、沢木欣一、能村登四郎、八木絵馬・編集委員:大串章、近藤一鴻、猿橋統流子、野沢節子、松崎鉄之介ほか／題字:荒井正隆	梅里書房	1994/06/05			506
13234	一般資料	書籍	大野林火全集 第7巻・自句自解、随筆	大野林火 著／村越化石 収載	自註句集『自選自解・大野林火句集』、随筆集『行雲流水』および随筆38篇、自伝2篇、講演4篇を収録／随筆:「癪園の人々」初めて草津楽泉園を訪れた折のことなどp327(『濱』昭和26年6月:ID:15657『濱』合本あり)、自伝:<16><17>村越化石との出会いなどp418／解題・解説:松崎鉄之介、荒井正隆／監修:井本農一、加藤楸邨、川島彷徨子、沢木欣一、能村登四郎、八木絵馬・編集委員:大串章、近藤一鴻、猿橋統流子、野沢節子、松崎鉄之介ほか／題字:荒井正隆	梅里書房	1994/08/21			475

資料ID	分類	種別 分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年 月日	ペー ジ数
13235	一般資料	書籍	大野林火全集 第8巻・未刊評論	大野林火 著／村越化石 関連	単行本に収録されていない評論のうち主要なものを収録し、巻末に年譜、著作一覧を掲載／戦前篇、戦後篇－作家と「場」：1.村越化石－経歴や出会い、句の解説などp254(『濱』昭和35年2、3月：ID:15700・15701『濱』あり)、濱俳句主流の変遷(3)第5回濱賞受賞(昭和26年度)－村越化石p365／解説、大野林火年譜－松崎鉄之介、大野林火著作一覧／監修：井本農一、加藤楸邨、川島彷徨子、沢木欣一、能村登四郎、八木絵馬・編集委員：大串章、近藤一鴻、猿橋統流子、野沢節子、松崎鉄之介ほか／題字：荒井正隆	梅里書房	1994/11/30			475
10384	一般資料	書籍	大龍勢 魂の俳人村越化石句碑建立記念集	村越化石 著	心にしみる増補版／岡部町出身の俳人・村越化石の句碑が平成14年11月に玉露の里(岡部町)に建立されたことを記念し、発行された句集。／目次：自註句集抄、「獨眼」「山国抄」「端坐」「筒鳥」「石と杖」「八十八夜」など句集抄・近作、化石の随筆・句集あとがき、化石の師(大野林火の随筆・句集 まえがきとあとがき)、化石と共に鑑賞「獨眼」「山国抄」、化石の経歴、あとがき	村越化石句碑建立実行委員会	2003/03/30			199
11830	一般資料	書籍	大龍勢 魂の俳人村越化石句碑建立記念集	村越化石 著	心にしみる増補版／岡部町出身の俳人・村越化石の句碑が平成14年11月に玉露の里(岡部町)に建立されたことを記念し、発行された句集。／目次：自註句集抄、「獨眼」「山国抄」「端坐」「筒鳥」「石と杖」「八十八夜」など句集抄・近作、化石の随筆・句集あとがき、化石の師(大野林火の随筆・句集 まえがきとあとがき)、化石と共に鑑賞「獨眼」「山国抄」、化石の経歴、あとがき	村越化石句碑建立実行委員会	2003/03/30			199
13767	一般資料	書籍	大龍勢 魂の俳人村越化石句碑建立記念集	村越化石句碑建立実行委員会 編集・発行／村越化石 収載	心にしみる増補版／岡部町出身の俳人・村越化石の句碑が平成14年11月に玉露の里(岡部町)に建立されたことを記念し、発行された句集。／目次：自註句集抄、「獨眼」「山国抄」「端坐」「筒鳥」「石と杖」「八十八夜」など句集抄・近作、化石の随筆・句集あとがき、化石の師(大野林火の随筆・句集 まえがきとあとがき)、化石と共に鑑賞「獨眼」「山国抄」、化石の経歴、あとがき	村越化石句碑建立実行委員会	2003/03/30			199
19502	一般資料	書籍	海人全集 下巻	村松武司 ほか編集／明石海人 著／村越化石 研究	内容：詩篇、評論・随筆篇、創作篇、日記篇、書簡篇	皓星社	1993/03/20			673

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
19501	一般資料	書籍	海人全集 上巻	村松武司 ほか編集／明石海人 著／村越化石 研究	全3巻／編集:村松武司 ほか／内容:短歌篇(1934年～1939年)、歌集・白描、第1部 白描、第2部 翳、作者の言葉	皓星社	1993/03/20			578
19503	一般資料	書籍	海人全集 別巻	村松武司 ほか編集／明石海人 著／村越化石 研究	内容:明石海人個人資料・追悼文・年譜	皓星社	1993/03/20			493
10895	一般資料	書籍	句集 石と杖	村越化石 著	第5句集／濱叢書221篇／満年齢で古希を迎える自祝の句集。前句集『筒鳥』に続く5年間の約300句を収録。／目次:昭和62年、昭和63年、昭和64年、平成元年、平成2年、平成3年、平成4年、あとがき／題字:荒井正隆	濱発行所	1992/12/17			161
14113	一般資料	書籍	句集 団扇	村越化石 著	第9句集 310句収録／巻頭口絵写真:大野林火色紙、蝸牛 平成19年、星祭り 平成20年、雪虫 平成21年、鈴蘭 平成22年、あとがき(岡部が藤枝市に合併となり文学館で展示された、といった記述あり)、巻末:著者略歴あり／装丁:巖谷純介	角川書店	2010/10/16			175
14114	一般資料	書籍	句集 団扇	村越化石 著	第9句集 310句収録／巻頭口絵写真:大野林火色紙、蝸牛 平成19年、星祭り 平成20年、雪虫 平成21年、鈴蘭 平成22年、あとがき(岡部が藤枝市に合併となり文学館で展示された、といった記述あり)、巻末:著者略歴あり／装丁:巖谷純介	角川書店	2010/10/16			175
14115	一般資料	書籍	句集 団扇	村越化石 著	第9句集 310句収録／巻頭口絵写真:大野林火色紙、蝸牛 平成19年、星祭り 平成20年、雪虫 平成21年、鈴蘭 平成22年、あとがき(岡部が藤枝市に合併となり文学館で展示された、といった記述あり)、巻末:著者略歴あり／装丁:巖谷純介	角川書店	2010/10/16			175
13815	一般資料	書籍	句集 烏ヶ辻	本田一杉 著／村越化石 研究	大阪陸軍病院天王寺臨時分院に療養中勇士から成る「烏ヶ辻句会」と「鷗野」の雑詠選集	鷗野発行所	1941/07/10			146
10894	一般資料	書籍	句集 筒鳥	村越化石 著	第4句集／昭和56年秋～昭和62年秋までの作品358句収録／あとがき、略歴／題字:荒井正隆	濱発行所	1988/05/05			192
18593	一般資料	書籍	句集 雪割	栗生楽泉園 著／村越化石 収載	草津栗生楽泉園俳句会第2句集 栗生楽泉園・阿部秀直:著者、大野林火:編者／序文一国立療養所栗生楽泉園長・阿部秀直、村越化石【筒鳥ポポポ馬の足跡】【森出づる雪の界睡りも幸もゆつくり来】【獣の糞緑に和む深山中】【雁渡し佇みて吾れ晩年へ】ほか全92首p27、小記一大野林火(p195に村越化石の句あり)、謝辞一村越化石p198	栗生楽泉園	1965/05/20			199

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
11919	一般資料	書籍	句集 石と杖	村越化石 著	第5句集／濱叢書221篇／満年齢で古希を迎える自祝の句集。前句集『筒鳥』に続く5年間の約300句を収載。／目次：昭和62年、昭和63年、昭和64年、平成元年、平成2年、平成3年、平成4年、あとがき／題字：荒井正隆	濱発行所	1992/12/17			161
18756	一般資料	書籍	句集 石と杖	村越化石 著	第5句集／濱叢書221篇／満年齢で古希を迎える自祝の句集。前句集『筒鳥』に続く5年間の約300句を収載。／目次：昭和62年、昭和63年、昭和64年、平成元年、平成2年、平成3年、平成4年、あとがき／題字：荒井正隆	濱発行所	1992/12/17			161
11493	一般資料	書籍	句集 蛍袋	村越化石 著／小川国夫 蔵書	第7句集 過去8年間の作品から408句／蛍袋 平成7年～8年／草の餅 平成9年～10年／蓑虫 平成11年／龍の玉 平成12年／冷奴 平成13年／茶の花 平成14年／あとがき	角川書店	2003/10/17			225
11922	一般資料	書籍	句集 蛍袋	村越化石 著	第7句集 過去8年間の作品から408句／蛍袋 平成7年～8年／草の餅 平成9年～10年／蓑虫 平成11年／龍の玉 平成12年／冷奴 平成13年／茶の花 平成14年／あとがき	角川書店	2003/10/17			225
11923	一般資料	書籍	句集 蛍袋	村越化石 著	第7句集 過去8年間の作品から408句／蛍袋 平成7年～8年／草の餅 平成9年～10年／蓑虫 平成11年／龍の玉 平成12年／冷奴 平成13年／茶の花 平成14年／あとがき	角川書店	2003/10/17			225
11774	一般資料	書籍	句集 八十路	村越化石 著	村越化石第八句集／桜餅(平成15年)、青嵐(平成16年)、花野(平成17年)、飛雪(平成18年)、朧夜(平成19年)／「松虫草」大野林火の評(『行雲流水—私の俳句歳時記—』明治書院刊 昭和54年)／あとがき	角川書店	2007/08/31			199
11775	一般資料	書籍	句集 八十路	村越化石 著	村越化石第八句集／桜餅(平成15年)、青嵐(平成16年)、花野(平成17年)、飛雪(平成18年)、朧夜(平成19年)／「松虫草」大野林火の評(『行雲流水—私の俳句歳時記—』明治書院刊 昭和55年)／あとがき	角川書店	2007/08/31			199
11776	一般資料	書籍	句集 八十路	村越化石 著	村越化石第八句集／桜餅(平成15年)、青嵐(平成16年)、花野(平成17年)、飛雪(平成18年)、朧夜(平成19年)／「松虫草」大野林火の評(『行雲流水—私の俳句歳時記—』明治書院刊 昭和56年)／あとがき	角川書店	2007/08/31			199

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
11920	一般資料	書籍	句集 八十路	村越化石 著	村越化石第八句集／桜餅(平成15年)、青嵐(平成16年)、花野(平成17年)、飛雪(平成18年)、隴夜(平成19年)／「松虫草」大野林火の評(『行雲流水－私の俳句歳時記－』明治書院刊 昭和56年)／あとがき	角川書店	2007/08/31			199
11921	一般資料	書籍	句集 八十路	村越化石 著	村越化石第八句集／桜餅(平成15年)、青嵐(平成16年)、花野(平成17年)、飛雪(平成18年)、隴夜(平成19年)／「松虫草」大野林火の評(『行雲流水－私の俳句歳時記－』明治書院刊 昭和56年)／あとがき	角川書店	2007/08/31			199
13825	一般資料	書籍	句文集 大汝	本田一杉 著／村越化石 研究	著者写真(p116とp117の間)、癡園巡礼p395／序：高浜虚子	鳴野発行所	1939/04/15			396
14097	一般資料	書籍	熊笹の尾根 栗生楽泉園創立七十周年記念写真集	栗生楽泉園入園者自治会 発行／村越化石 関連	【目次】第1章 湯ノ沢部落 自由と自治の療養村、第2章 苦難の日々 開園から敗戦まで、第3章 闘争の季節 戦後、人権獲得へ、第4章 激動の時を越えて 生活・福祉の向上、第5章 未来へ 真の人権回復へ向けて	皓星社	2002/10/25			126
13746	一般資料	書籍	現代日本文学全集 第38篇 現代短歌集 現代俳句集	山本三生 編纂者／村越化石 研究／桜井淑 研究	現代短歌・俳句諸家の作品と解説(写真あり)／【現代短歌集】若山牧水p118、若山喜志子p121、歌壇諸家略年譜p248／【現代俳句集】前田普羅p301、臼田亞浪p385、俳壇諸家略年譜p458／明治大正短歌史概観：斎藤茂吉、明治大正俳諧史概観：高浜虚子	改造社	1929/09/18			543
12244	一般資料	書籍	現代俳句大事典(普及版)	稲畑汀子 ほか 監修／村越化石 関連／関森勝夫 収載	村越化石p552／関森勝夫p305／大野林火p101／『濱』p456	三省堂	2008/09/10	初版第1刷		756
14079	一般資料	書籍	白樺の木立を越えて ハンセン病と共に生きる	藤田三四郎 著／村越化石 研究	栗生楽泉園で患者として、自治会長として半世紀以上に亘って運動を継続する記録／ハンセン病とは、ハンセン病の歴史、湯ノ沢部落と栗生楽泉園 他	文芸社	2005/03/15	初版第1刷		219
18712	一般資料	書籍	自註現代俳句シリーズ・2期 38 村越化石集	村越化石 著	『独眼』66句、『山国抄』132句、それ以降から102句 著者自選300句に自註を加えたもの(昭和25年～昭和53年)／あとがき、略歴	俳人協会	1979/02/01			154
11439	一般資料	書籍	句集 端坐	村越化石 著	第3句集 最近8年間の作から／【目次】序句－大野林火(前句集『山国抄』出版記念会席上で賜った句)、昭和49年～昭和56年、あとがき／題字：荒井正隆	濱発行所	1982/06/20			165
13201	一般資料	書籍	句集 端坐	村越化石 著	第3句集 最近8年間の作から／【目次】序句－大野林火(全句集『山国抄』出版記念会席上で賜った句)、昭和49年～昭和56年、あとがき／題字：荒井正隆	濱発行所	1982/06/20			165

村越化石 著作・参考図書(藤枝市文学館)2012.9.18

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
13250	一般資料	書籍	句集 端坐	村越化石 著	第3句集 最近8年間の作から／【目次】序句－大野林火(全句集『山国抄』出版記念会席上で賜った句)、昭和49年～昭和56年、あとがき／題字:荒井正隆	濱発行所	1982/06/20			165
18707	一般資料	書籍	筒鳥	村越化石 著	第4句集／昭和56年秋～昭和62年秋までの作品358句収録／あとがき、略歴／題字:荒井正隆	濱発行所	1988/05/05			192
18711	一般資料	書籍	筒鳥	村越化石 著	第4句集／昭和56年秋～昭和62年秋までの作品358句収録／あとがき、略歴／題字:荒井正隆	濱発行所	1988/05/05			192
13200	一般資料	書籍	句集 独眼	村越化石 著	第1句集 400部限定・濱発行所／【目次】序－大野林火、昭和25年－巖冬、昭和26年－除夜の湯 他、昭和27年－癩兒 ほか、昭和28年－癩の手 他、昭和29年－餅筵 他、昭和31年－命儲け ほか、昭和31年－雪界 他、昭和32年－黍倒す 他、昭和33年－胼薬 他、昭和34年－馬車一臺 他、昭和35年－青日輪 他、昭和36年－聖夜蒼し 他、昭和37年－四十晩年、跋－山本よ志朗、あとがき、略歴	琅玕洞	1962/08/00			176
13559	一般資料	書籍	句集 独眼	村越化石 収載	第1句集 400部限定・濱発行所／【目次】序－大野林火、昭和25年－巖冬、昭和26年－除夜の湯 他、昭和27年－癩兒 ほか、昭和28年－癩の手 他、昭和29年－餅筵 他、昭和31年－命儲け ほか、昭和31年－雪界 他、昭和32年－黍倒す 他、昭和33年－胼薬 他、昭和34年－馬車一臺 他、昭和35年－青日輪 他、昭和36年－聖夜蒼し 他、昭和37年－四十晩年、跋－山本よ志朗、あとがき、略歴	琅玕洞	1962/08/00			176
18716	一般資料	書籍	俳句四季 2011年12月号	村越化石 収載／関森勝夫 収載	【人と作品】関森勝夫句集『天年』－福田雅子「万象」同人p98、【難病の俳人達 最終回】村越化石－由利雪二p110	東京四季出版	2011/11/19			160
16333	一般資料	書籍	俳人協会会員名簿 平成9年度版	俳人協会 発行／村越化石 著／関森勝夫 著	名簿 関森勝夫P136／村越化石P237	俳人協会	1997/04/20			269

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
13224	一般資料	書籍	濱俳句選集	大野林火 編者／ 村越化石 収載／ 関森勝夫 収載	季題別濱俳句集・30周年記念、『濱』創刊昭和21年から昭和49年までの誌上掲載句を大野林火が鑑選／序一大野林火、春：村越化石【望郷台暮春の頭垂れ登る】p8、【納骨の火ら斑雪の端ゆけり】p15、【ミサの鐘四方春嶺となりひびく】p17、ほかp19、25、30、38、42、関森勝夫【燕水擦り横広の霞の帯】p43、夏：村越化石【麦秋の妻子を生かす癪の銭】p68、ほかp72、77、79、90、117、130、137、143、149、関森勝夫【燐寸すれば森の揺るよ青葉木菟】p118、p130、秋：村越化石【秋日差一山づつを賞づるらし】p154、ほかp160、162、163、164、171、177、181、187、203、209、関森勝夫【敗戦日行商せし母夏を瘦せ】p180、ほかp190、214、冬：村越化石【ばちばちと胡麻炒っている寒入】p222、ほかp223、235、237、243、247、249、252、254、255、262、267、270、272、276、277、278、新年、あとがき—中戸川朝人、季題索引、作者別頁索引	濱発行所	1975/05/10			328
13593	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第10巻	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員：大岡信、大谷藤郎、加賀乙彦(第7巻担当)、鶴見俊輔、装幀：安野光雅／作文、詩、短歌、俳句／解説：鶴見俊輔	皓星社	2003/06/30	初版		460
13586	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第1巻 小説1	大岡信 編集委員 ／村越化石 関連	編集委員：大岡信、大谷藤郎、加賀乙彦(第1巻担当)、鶴見俊輔、装幀：安野光雅／【目次】北條民雄—いのちの初夜、間木老人、癩院受胎、吹雪の産声、癩家族、望郷歌／吉成稔、豊田一夫、宮島俊夫、小泉孝之、沢田五郎、名草良作／解説：加賀乙彦／巻末：著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2002/09/17	初版		478
13587	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第2巻 小説2	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員：大岡信、大谷藤郎、加賀乙彦(第2巻担当)、鶴見俊輔、装幀：安野光雅／著者：森春樹、氷上恵介、甲斐八郎、風見治、桜井哲夫、解説：加賀乙彦／巻頭写真：栗生楽泉園納骨堂、巻末：著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2002/10/17	初版		505
13588	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第3巻 小説3	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員：大岡信、大谷藤郎、加賀乙彦(第3巻担当)、鶴見俊輔、装幀：安野光雅／著者：冬敏之、島比呂志／解説：加賀乙彦／巻末：著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2002/11/15	初版		444

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
13589	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第4巻 記録・随筆	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員:大岡信、大谷藤郎、加賀乙彦、鶴見俊輔(第4巻担当)、装幀:安野光雅／記録1:明石海人、北條民雄 ほか／記録2／随筆:北條民雄 ほか／解説:鶴見俊輔／巻末:著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2003/03/17	初版		786
14067	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第5巻 評論	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員:大岡信、大谷藤郎(第5巻担当)、加賀乙彦、鶴見俊輔、装幀:安野光雅／第1部 ハンセン病文学の起源と意味、第2部 偏見・差別に抗して、第3部 文学は社会復帰したか 北條民雄論、俳句における「癩」の用語問題(本田一杉の言葉など)他、付録 書誌・「多磨」五十年史／巻末:著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2010/06/30	初版		782
13590	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第6巻 詩1	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員:大岡信(第6巻担当)、大谷藤郎、加賀乙彦、鶴見俊輔、装幀:安野光雅／1935年、1936年、1940年、1950-1960年の長島愛生園、栗生楽泉園ほか合同詩集を収録／解説:大岡信／巻頭写真:長島愛生園、目白舎前で長島詩謡会メンバー達と:明石海人ほか(昭和11年頃)、巻末:著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2003/10/24	初版		492
13591	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第7巻 詩2	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員:大岡信(第7巻担当)、大谷藤郎、加賀乙彦、鶴見俊輔、装幀:安野光雅／1961年、1962年、1964年、1967-1969年、1971年、1973-1976年、1978-1982年、1983-1989年、1991-1996年、1998年、2000-2002年の長島愛生園、栗生楽泉園ほか合同・個人詩集を収録／解説:大岡信／巻末:著者名索引、著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2004/02/15	初版		580
13592	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第8巻 短歌	大岡信 編集委員 ／村越化石 研究	編集委員:大岡信(第8巻担当)、大谷藤郎、加賀乙彦、鶴見俊輔、装幀:安野光雅／1926-2001年までの長島愛生園、栗生楽泉園ほか合同・個人歌集を収録、収録短歌2万首、歌人1200人／解説:大岡信／巻末:著者名索引、著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2006/08/25	初版		656

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
19500	一般資料	書籍	ハンセン病文学全集 第9巻 俳句・川柳	大岡信 編集委員 ／村越化石 収載	1950年 栗生楽泉園－浅香甲陽『白夢』p65、1955年 栗生楽泉園－大野林火：編『句集 火山騷』(村越化石【除夜の湯に肌触れあへり生くるべし】ほか16句)p85、1965年 栗生楽泉園－楽泉俳句会『雪割』(村越化石【雪の界睡りも幸もゆつくり来】ほか15句)p141、1976年 栗生楽泉園－高原俳句会『句集 一代畑』(村越化石【鳥けもの喜雨山中に出で逢へや】ほか26句)、1989年 栗生楽泉園－高原俳句会『句集 花鳥山水譜』(村越化石【落の臺望郷いまもよごれなし】ほか2句)、2007年 栗生楽泉園－村越化石『村越化石自選八十句』p246、解説にかえて：編集部(本田一杉や大野林火についての記述あり)、著者紹介－浅香甲陽p261、村越化石p298、テキスト一覧(村越化石の著作、関係本記載あり)／編集委員：大岡信・田口麦彦(第9巻担当)、大谷藤郎、加賀乙彦、鶴見俊輔、装幀：安野光雅／解説：田口麦彦／巻末：著者名索引、著者紹介、テキスト一覧、国立ハンセン病療養所所在地	皓星社	2010/07/20	初版		513
14081	一般資料	書籍	響きあう俳句と書 下	金子兜太 監修 村越化石	大正・昭和生れの俳人／【朝鴉に父夕鴉に母憶へ】句：村越化石、書：室井玄聳p64、【天上も淋しからんに燕子花】句：鈴木六林男、書：百瀬大蕪	天来書院	2007/06/15	第2版		2007/03/15
13217	一般資料	書籍	句集 火山騷	矢嶋良一 著者 村越化石 収載	草津栗生楽泉園俳句会句集 大野林火：編／序文－国立療養所栗生楽泉園長・矢嶋良一、村越化石【顔上げて冬の長さの燈にもあり】【癩人の相争へり枯木に目】【除夜の湯に肌触れあへり生くるべし】ほか全72首、あとがき－大野林火、刊行に際して－村越化石／帯評：石田波郷(いしだはきょう)	近藤書店	1955/12/20			158
13585	一般資料	書籍	風雪の紋 栗生楽泉園 患者50年史	栗生楽泉園患者 自治会 著者兼発 行所／村越化石 関連	巻頭写真／高原俳句会p367、教養大学講座－講師：大野林火、鶴見俊輔ほか、『高原』p387／年表ほか	栗生楽泉園患 者自治会	1982/09/20			538
11918	一般資料	書籍	村越化石集 八十八夜	村越化石 著	日本全国俳人叢書／著者18歳の頃の写真あり／目次：第1章 昭和16年から昭和45年まで、第2章 昭和46年から昭和57年まで、第3章 昭和57年から平成4年まで、第4章 平成4年から平成7年、あとがき／初学の頃の句に始まり、5冊の句集の中から抄出したもの、さらにその後の発表作から選び、年代順に430句を収載。題名の「八十八夜」は「望郷の目覚む八十八夜かな」からとった。	近代文芸社	1997/07/31			95

村越化石 著作・参考図書(藤枝市文学館)2012.9.18

資料ID	分類	種別分類	書名・資料名	著者名・作者名	内容	発行所	発行年月日	版数	初版発行年月日	ページ数
18708	一般資料	書籍	村越化石集 八十八夜	村越化石 著	日本全国俳人叢書／著者18歳の頃の写真あり／目次:第1章 昭和16年から昭和45年まで、第2章 昭和46年から昭和57年まで、第3章 昭和57年から平成4年まで、第4章 平成4年から平成7年、あとがき／初学の頃の句に始まり、5冊の句集の中から抄出したもの、さらにその後の発表作から選び、年代順に430句を収載。題名の「八十八夜」は「望郷の目覚む八十八夜かな」からとった。	近代文芸社	1997/07/31			95
11438	一般資料	書籍	句集 山國抄	村越化石 著	第2句集 〓【目次】序:大野林火、昭和37年～昭和49年、跋:白井春星子、あとがき／題字:荒井正隆		1974/08/20			170
13249	一般資料	書籍	句集 山國抄	村越化石 著	第2句集 〓【目次】序:大野林火、昭和37年～昭和49年、跋:白井春星子、あとがき／題字:荒井正隆	濱発行所	1974/08/20			170